

KAWAGUCHI KINDERGARTEN

K A W A G U C H I K I N D E R G A R T E N



あかるく

なかよく

げんきよく



川口幼稚園

目的

本園は学校教育法第1条及び第22・23条により幼児を保育し、幼児の健やかな成長のために適当な環境を与えて、その心身の発達を助長することを目的とする。

特徴

本園は、川口市の北東にあり、JR武蔵野線・東浦和駅から徒歩20分の場所に位置しております。

自然に恵まれた広々とした良い環境で健やかな身体と幼児の発達段階にふさわしい知能を助長し、また幼児に適した日常生活の「しつけ」を重要視しております。

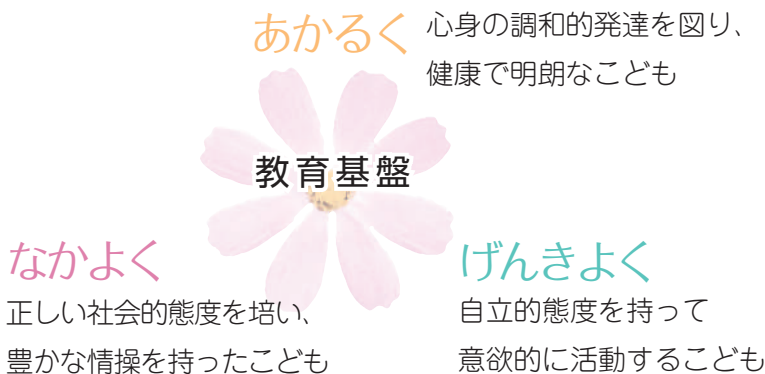
幼児教育の場にふさわしい恵まれた自然環境の中にある幼稚園であります。

教育方針

コスモスの花を園の象徴として調和のとれた人格形成を目指し、**知育・徳育・体育**を教育の基盤としています。



日常生活では、**あかるく・なかよく・げんきよく**を指導の指針とします。



創立者 峯岸 暢子先生



広い園庭



兎(うさぎ)と亀(かめ)
すぐれた才能は、努力してこそ生かされる。



守護石(しゅごせき)
三つの石は、親子三代を表わす。
家庭円満こそ教育の基本である。

ごあいさつ

万葉の昔から、こどもはかけがえのない宝です。

特にこの少子化の社会の中で、いかにこどもを育てるかに、国の将来がかかっていると言っても言い過ぎではないと思います。「三つ子の魂百まで」と言われるように、小学校入学前の教育こそ肝要なのです。

本園は、学校教育法の趣旨に則り、幼児の心身の発達を助長することを目的として、昭和47年4月に設立されました。爾来、創立者である故峯岸暢子先生の掲げた教育理念—「知育」「徳育」「体育」—を教育の基盤として、こども達、ひとり一人の創造性を豊かにして、たくましく心優しい調和のとれた人格の形成を目指し、今日まで幼児教育の歴史を重ねて参りました。そして、学園の名に示してあります峯徳の「徳」をもって、人間形成の基本としております。

幼児時代に覚えたことは一生忘れるものではありません。社会生活を営むうえで必要なものを、幼児時代に養う。このような教育方針を創立に際して確立し、以来、これを中核として、全教職員をあげて園児の教育にあたっております。

現在では、施設・設備および教職員の充実をはかり、また、教職員は教育理念を実現すべく研鑽を重ね、努力し、幼児教育の場としての理想的な環境が整って参りました。どうぞ当園に信頼を寄せて入園してください。いきいきとした園児たちの姿をご覧になり、保護者の皆様にもきっとご満足いただけたと思います。



園長 百澤 麻子



教育の方針

- 1 **正課学習**
正しい文字や数観念を発達させるための基礎的な経験を、日常生活や遊びの中に取り入れ、文字・数に慣れ親しみ、学ぶことの楽しさを味わいます。
- 2 **正課英語**
コミュニケーションの手段として国際的に使われている英語に、幼児期から興味や関心を持ち、楽しみながら自然と英語に慣れ親しめるよう保育に英語を取り入れています。外国人講師のもと歌や遊びを通して英語に慣れ親しむことができます。
- 3 **視聴覚教育**
望ましい視聴の態度を身につけます。又、空想力や想像力を伸ばし、経験を積み情操豊かな心を育てます。
- 4 **園外教育**
園周辺の公園などの公共施設での様々な活動を通して、社会との関わりを体験するとともに、公共心を養います。
- 5 **自主・自立の精神を養う**
日常の身の回りのことから、自分のことは自分で出来るように幼児と共に考え、方法を授け、自分で出来る事の喜びを理解させ自信を持たせます。
- 6 **正しい言葉遣い、正しい態度を身につける**
日々の生活の中でともだちや先生との気持ちよいあいさつや正しい言葉遣いを身につけ、コミュニケーション能力の基礎を培います。



給食



正課体育



園外保育

育
基盤
体育

7

正課体育

専任体育講師の指導で、こどもの体力向上をはかるために、歩く・走るなどの基本動作に加え、跳び箱やマット運動などの幅広い体育指導を行います。

8

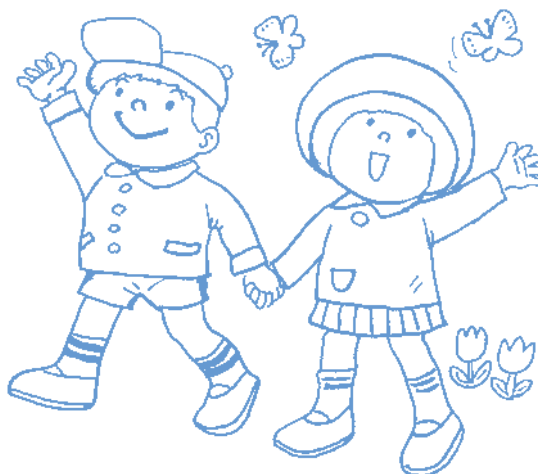
スイミングスクール

一年中使用できる温水プールで、楽しい水遊びから少しずつ水泳の基礎へと移行し体力づくりを目指します。体育講師のもと、無理なく水に慣れ親しむことができるよう指導しています。

9

給食

正しい食生活の基礎的な習慣や態度を身につけることをねらいとします。食物アレルギーのあるお子さんには、栄養士と連絡をとり、そのお子さんに対応した給食となるよう配慮しています。



読み聞かせ



いもほり遠足



音楽活動

川口幼稚園では

総合的な教育をします

幼児の心は、まだ未発達で未分化です。物の見方も考え方も、自分が経験したことだけをもとにして判断したり考えたりする事が多いのです。

幼児の生活は「あそび」が中心です。そのあそびの中に、いろいろな要素が含まれていると考えていただければよいと思います。

幼稚園教育要領では、この要素を健康・人間関係・環境・言葉・表現の5つの領域にまとめています。幼稚園ではあそびを通してこの内容を学んでいくことになっているのです。

つまり、**これらの領域を総合的に、調和させながら、幼児の自発的な活動を引き出していくように環境を整えたり、先生がはたらきかけていこうとするのが、幼稚園の教育なのです。**

集団の中で
生活の基礎を培います

幼稚園は学校のように教えるところではありません。「仲良くあそぶ」ということを考えてみましょう。「仲良くしましょう」と、ことばで教えるだけでは、本当に仲よくできるものではありません。友達と一緒に遊んでいるうちに、自分勝手になく、友達の言い分も聞いてあげること、他人の立場もわかってあげることの必要性がわかっていくものです。

ことばで教えられたことは、知識として承知していたとしても、本当に身についたものにはならないようです。いろいろな生活の知恵を、生活の中で、体験を通して学んでいくのです。

幼稚園生活の中で、**集団とかかわり、生きていくための土台をつくっていくのです。**

幼児の心になって
考えていきます

幼児は、まだ思ったことが上手に表現できません。そのために、つい手が先に出てしまうこともあります。自己中心的であるために自己主張はできても、お友達の立場まで理解する事ができません。そのために、物を奪い合ったり、言い争ったりというけんかがたくさんあります。そんなとき、「けんかはいけません」というだけでは、こどもの心を育てることにはなりません。

幼稚園では、**それぞれの立場を認めながら、その場にふさわしい指導と支援を心がけています。**

幼児が楽しめる
行事を考えています

成長の節目となる行事は、自主性・主体性を育てる上で欠かすことのできないものです。本園では、運動会・学芸会をはじめ、親子遠足・いもほり遠足・おもちゃつき会・園内サッカー大会など、様々な行事を用意しています。

そうしたひとつ一つの行事を通して、こどもたちに新たな興味や関心を芽生えさせ、やり遂げた喜び、ともだちと一緒にすることの楽しさを味わうことができるようにしています。**保護者の方にも、こうした行事からお子さんの成長を感じ取っていただきたいと考えています。それが、ご家庭と園が連携して、お子さんを成長させることにもなります。**

ひとり一人の能力や個性を伸ばすよう努力します

入園してくるお子さんは、それまでに育った環境によって、さまざまな違いをもっています。泥んこ遊びはいけないうちの子や、男の子とは遊べない女の子、あいさつ・行儀など細かくしつけがなされているお子さんとそうでないお子さん。

それに4月生まれのお子さんと翌年3月生まれのお子さんとは、1年の発達の開きがあります。3、4歳の頃の1年の違いは、それは大きいものがあります。

でも、心配はいりません。幼稚園で一斉に同じことをする時間は、どの子も、その子なりに興味を示すことのできる内容にしています。

こどもの発達を考え、その子に応じた内容に興味を持たせ、やってみたいと思うような方法づけや環境づくりをしていくように努力しています。

幼児の長所を認める教育をします

人格は5歳ぐらいまでにその方向が決まるといわれますから、幼稚園や家庭の生活を明るく、うるおいのあるものにしてあげることが大切です。友達との交流によって、良いこと悪いことの判断ができるようにしていく必要があります。それも、成長の段階で、さまざまな体験を通して、道徳性の芽生えを養っていくこととなります。

幼児の成長段階はみんな違うので、能力も違って当然です。性格もそれぞれ異なっているものです。しかし、どのお子さんにも長所が必ずあるものです。**そのお子さんの長所を認めてあげることによって、満足感や充実感を味わい、意欲的な生活ができるようになるものです。**

先生も研修に励んでいます

幼稚園は遊びの中で、いろいろな経験を重ね、学ぶところです。ですから、遊びが楽しくできることが、意欲的で創造的な人格形成の基になるといえます。

幼稚園の建物や施設、遊具などが安全に使えるように管理することも、教師の大切な仕事です。更にお子さんたちと毎日ふれあう教師が、人格的にも教養の面でも立派になることが、最も大事なことであり、研究・研修に努力しています。

幼いお子さんが、楽しく充実した生活ができるようにするためには、**教師が安定した心で、自信をもって、ひとり一人をしっかりと見つめ、ひとつ一つの事象に適切に対応していける力をもつことが大切だと思います。**私たちは、毎日の保育の反省を繰り返すことはもちろん、明日の保育の方向を充実したものにするために、園内外に学習の場を見出しては、教師としての自己充実のための研修に励んでおります。

保育環境（子どもの遊びと生活）

保育室

南側に位置し、窓から明るい日差しが入り、更に LED 照明が設置されているため快適な環境で保育を行っています。

戸外遊び

自然にふれあいながら、先生と一緒に思いきり体をのばす子ども達。

広い園庭でおもしろおもしろに遊びます。



戸外遊び

砂場遊び

砂場には光触媒作用(病原菌も死骸もすべて分解)を効果的に発揮する抗菌砂を混ぜ、常に清潔な砂場を保っています。



砂場遊び

園庭遊具

21 世紀を担う子ども達にとって夢が育まれるよう「21 世紀の夢の世界」宇宙への掛け橋となるトレーニング基地というコンセプトで作られた遊具。遊びを通して、腕力、脚力、バランス感覚を養います。

室内温水プール

園内にある室内温水プールで年間を通してのびのびスイミングをすることができます。



室内温水プール

学校農園

自然に親しみ、土に触れ、収穫の喜びを味わうことをねらいとし、おもしろ掘りを行っています。

安心・安全の対策

登降園時間以外は、各門及び玄関に鍵をかけています。来園者には職員室の、カラーテレビ付インターホンにて対応し安全管理対策をしています。



学校農園

教育活動

1日のようす

登園 8:00～
身支度
遊び
片づけ



登園

一斉保育 9:30～
朝の会
一斉活動
(正課活動
(体育・英語・学習)・
製作・折り紙等)



一斉保育

昼食 12:00～
給食(月・火・水・金曜日)、
お弁当(木曜日)

降園準備 13:00～
帰りの会



降園準備



運動会

降園 13:30～15:00



学芸会

年間行事予定

4月	●進級式 ●入園式 ●保育参観
5月	●避難訓練 ●遠足 ●スイミングスクール開始 ●内科健診
6月	●衣替え ●歯科健診 ●成長測定 ●園外保育 ●観劇会
7月	●保育参観 ●個人面談 ●七夕 ●終業式 ●夏期保育(ヨーヨー遊び)
8月	●夏期保育(しゃぼん玉遊び・盆踊り会)
9月	●始業式 ●避難訓練
10月	●衣替え ●運動会 ●いもほり遠足 ●園外保育
11月	●園外保育 ●成長測定 ●勤労感謝の日参観
12月	●保育参観 ●クリスマス会 ●園内サッカー大会(年長組) ●終業式
1月	●始業式 ●視力検査(年長組)
2月	●節分 ●学芸会
3月	●保育参観 ●お別れ遠足(年長組) ●お別れ会(年長組) ●卒業式 ●終業式



卒業式

課外クラブ

フットボールクラブ

サッカーは幼児の発達・成長に適しており、体力向上と意欲的に取り組む気持ち、協力する心を育てることを目的として活動しています。

年長組 12月に参加するわんぱくサッカー交流大会(リーグ戦方式)では、常に上位入賞を果たしています。活動は年中組の11月から始まります。



バトンクラブ

音楽に合わせて身体を動かす楽しさを味わい、リズム感や表現力を養うと共に集中力・正しい姿勢を身に付けることを目的として活動しています。

また、学期毎に行われる発表会に向けて練習しています。活動は年中組の11月から始まります。



にこにこクラブ (預かり保育)

にこにこクラブ(預かり保育)は、早朝、保育時間終了後及び春・夏・冬休みに開設しております。お子さんがにこにこしながら楽しい時間を過ごせるようにしたいと思います。「お仕事やPTA出席などで、預かってもらえたら」という時にご利用ください。

活動日は月曜日から金曜日の7:30～19:00です。(土、日、祝祭日及び年末年始はお休みです。)



なかよしクラブ

子育て支援事業の推進として未就園児の方を対象に行っている教室です。

親子での活動から始まり、少しずつ集団生活の基礎を養います。



川口幼稚園のあゆみ

昭和47年	4月	●	学校法人峯徳学園を組織、峯岸進理事長となり運営に当る。	
	同	4月	●	埼玉県知事の許可を得て川口幼稚園を創立。峯岸進園長となる。
	同	4月	●	川口幼稚園を開園本館落成。(保育室5、遊戯室1等)園児数 137名
昭和51年	9月	●	大運動場を設ける。約 3300㎡	
昭和52年	3月	●	体育館、保育室2落成。園児数 480名に増員。	
昭和57年	3月	●	創立 10周年を記念し、園歌を制定する。	
昭和62年	12月	●	園庭を拡張し、宇宙ステーション他、固定遊具を増設。	
平成元年	1月	●	園章を改める。	
平成4年	10月	●	新園舎完成。延べ 1758.24㎡	
平成5年	6月	●	室内温水プール完成。	
平成7年	12月	●	第16回わんぱくサッカー大会優勝。(埼玉県サッカー協会主催)	
平成11年	5月	●	環境整備事業。(各保育室に扇風機設置)	
	同	12月	●	第20回わんぱくサッカー大会優勝。(埼玉県サッカー協会主催)
平成13年	2月	●	第21回わんぱくサッカー大会連続優勝	
平成16年	4月	●	創立者 峯岸暢子先生の顕彰碑を設置、除幕式を挙げる。	
平成17年	8月	●	オブジェ「兎と亀」設置。	
	同	12月	●	第26回わんぱくサッカー大会優勝。(埼玉県サッカー協会主催)
平成18年	8月	●	環境整備事業。(各保育室に冷暖房機設置)	
	同	12月	●	第27回わんぱくサッカー大会連続優勝。
平成19年	12月	●	第28回わんぱくサッカー大会三連覇。	
平成21年	4月	●	峯岸正教園長となる。	
平成23年	12月	●	第32回わんぱくサッカー交流大会リーグ優勝。	
平成24年	12月	●	第33回わんぱくサッカー交流大会リーグ優勝。	
平成28年	12月	●	第37回わんぱくサッカー交流大会リーグ優勝。	
平成29年	12月	●	第38回わんぱくサッカー交流大会リーグ優勝。	
	同	12月	●	施設整備整備事業。(AED設置)
平成30年	12月	●	第39回わんぱくサッカー交流大会リーグ優勝。	
平成31年	4月	●	環境整備事業。(花畑回廊整備)	
令和元年	12月	●	第40回わんぱくサッカー交流大会リーグ優勝。	
令和2年	5月	●	施設整備事業。(エントランス照明改修・トイレ和式を洋式に改修)	
	同	12月	●	第41回わんぱくサッカー交流大会リーグ優勝。
令和3年	4月	●	百澤麻子園長となる。	



川口幼稚園園歌



作詞 峯岸 すすむ
作曲 峯岸 暢子

一 大きくなるう

伸びる子だもの

お空をみあげて 手をつなぐ

輝く光を 胸いっぱい

ぼくたち わたしたち

川口幼稚園の 強い子だ

大きくなるう 大きくなるう

明るい あしたが まっている

二 元気にゆこう

なかよしなもの

お日さまみている にこにこと

すなおな心に 夢のせて

ぼくたち わたしたち

川口幼稚園の 強い子だ

元気にゆこう 元気にゆこう

明るい あしたが まっている



学校法人 峯徳学園

川口幼稚園

〒333-0831 埼玉県川口市木曾呂1425番地

TEL 048-295-1195 FAX 048-296-5271